

【重要プロジェクト】 ～若者の移住定住・関係人口創出事業～

「重要プロジェクト設置の目的」

平成 28 年度より「都市部からの子育て世代」の移住を促す取組を行うなど少子高齢化対策を行ってきた。現在は、移住推進員を 2 名、地域おこし協力隊 1 名を配置し、移住促進業務と関係人口創出に取り組んでいる。しかし、若年層の転出超過や都会からの移住者の高年齢化などが原因で総合計画に定める、人口構成バランスの改善には至っていないのが現状である。そこで、ターゲットを近隣の若年層に設定しさらに外部団体に委託し弾力的な運用を行うとともに、ユースセンターを設置し若者と地域の関わりを増やし地域への愛着を醸成することで現状の打開を図る。

平成 28 年からのいままでの取組

～都会からの移住者を増やす取組～

移住・定住

- ・移住定住推進
- ・空き家対策

関係人口の拡大

- ・和気町ファンクラブ

(直近 3 年)

移住者数

280 人

空き家バンク登録件数

65 件

会員数

2,267 人

公式 LINE 登録者数

3,447 人

来町者数 (令和 7 年度)

1,067 人

※クーポン使用とアンケート数から算出

令和 8 年度からの取組

～近隣からの若者世代の転入や若者定住を促進する～

令和 9 年度設立予定

外部団体を設立し業務を推進

民間主体で持続的かつ弾力的な運営を行う

【事業】

若者転入・定住／関係人口の拡大

情報発信 (若者転入定住・関係人口創出)

イベント運営 (県移住フェア・関係人口創出)

ユースセンターの設置と管理運営 (New)

施設管理 / ワークショップの運営 /

課題

- ・近年は、移住者が高年齢化している。
- ・移住相談窓口の利用者数の減少。
- ・若者世代の社会減が著しい。

・「ふるさと住民登録制度」への対応が必要。

説明

「ユースセンター」とは

「家庭でも学校でもない、若者の『第 3 の居場所 (サードプレイス)』」

「地域プロジェクトマネージャー」とは

プロジェクトの企画立案、進捗・予算の管理、リスク評価、地域内の関係者 (住民、行政、民間企業など) との連携や調整